

情報研修：埼玉工業大学との高大連携事業

最新の施設にて研修

6月17日(土)1年8組理数科全員で埼玉工業大学を訪問し、3DCGの応用及び通信技術を学びました。3DCG作品を作成する際の発展的な技術を探究するとともに、作品の3Dディスプレイによる体験や3Dプリンタによる立体化を通じて、今後のSSH活動に必要な多面的な物の見方を育成することを目的とした研修でした。

また、午後には大学のネットワーク通信網を使い海外の拠点と交信しました。



3Dディスプレイ・3Dプリンタ体験研修

講師の井門先生から、3Dディスプレイや3Dメガネの仕組みについての講義を受けました。3Dプロジェクターの原理も学びました。3D映像の体験もしました。3D撮影可能なカメラを使って、その場で3D写真を撮りました。3DCGソフトで作成した自分の作品を、3Dメガネを用いて立体的に鑑賞しました。3Dプリンタで立体化した作品を、手に取って鑑賞しました。



講師の井門先生の解説



Shade という 3D アプリを使っでの実習

参加生徒の声

パソコンの技術を知れると思って期待して研修に参加した。実際には難しく、自分の思い通りに行かないことも多くあった。shade や 3D の技術などを授業より良く覚えることができた。(1年男子)

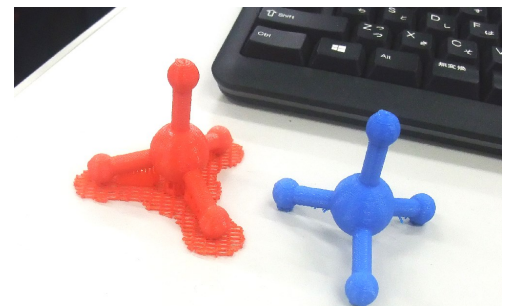
進むのが速く、ついていけなかった。機械が苦手な人には優しくない仕様だった。機械は苦手なので、今まで避けてきたが、今回の実習は楽しかった。苦手意識を若干でもなくすることができたという点で、とても有意義な体験だった。(1年女子)

3D構造には興味があったので、今日は特にためになる校外研修でした。授業で習っていたことから発展したシェードの内容を知ることができた。チョコレートで難しい形をしたものを作れたり、驚きの連続でした。(1年男子)

いろいろなソフトを使ったり、操作方法を教わったりととても面白い実習だった。興味があった3Dプリンタの見学・説明をしてもらうことができた。理数科以外の参加でしたが、理数科の皆や講師の方々が優しくしてくださって、無事終えることができた。(普通科1年男子)

埼玉工業大学の実習を受けて、コンピュータの作業についての先生の話に、全くついていけなかった。周りの人に追いつくのに必死だった。そのため、普段話さないような人とコミュニケーションをとるいい機会となった。私の家にはPCがないので、触ることがほとんどないので、貴重な体験ができた。(1年男子)

大学のコンピュータールームまで入ることは初めてだったので、新鮮な体験だった。実習で使ったShadeやAVSなどのソフトウェアに興味を湧いた。(1年男子)



メタンの立体構造

編集後記

初めての大学での研修に、先生の話に戸惑いながらも、最先端のソフトウェアを使い、何とかついていった様子がアンケートを集計しながら推察することができた。

また、数名であったが普通科の生徒も参加して刺激を受けていたようであった。今後とも基礎研修は開講いたしますので、理数科のみならず普通科の生徒の参加も待ってます。(文責:三上)